

令和3年度
予算編成に対する要望書

公明党議員会

目 次

はじめに（令和3年度予算編成に対する要望）	2
-----------------------	---

重点要望事項

1 新型コロナウイルス感染症対策の強化	3
2 防災・減災対策の一層の強化	3
3 ネットワーク型コンパクトシティの推進	4
4 子育て支援事業の拡充と健康・福祉の充実	5
5 教育の充実と生涯にわたる学習活動の促進	6
6 地域経済の活性化	7
7 環境の未来都市実現	7
8 ICT化の推進でスーパースマートシティの構築	8

要望項目

I 「子育て・教育の未来都市」の実現に向けて	9
II 「健康・福祉の未来都市」の実現に向けて	10
III 「安全・安心の未来都市」の実現に向けて	11
IV 「魅力創造・交流の未来都市」の実現に向けて	11
V 「産業・環境の未来都市」の実現に向けて	12
VI 「交通の未来都市」の実現に向けて	13
VII 「強固な行政経営基盤」の確立に向けて	13

宇都宮市長

佐藤 栄 一 殿

宇都宮市議会公明党議員会

令和2年10月28日

はじめに

現在、世界において新型コロナウイルス感染症という大きな困難に直面しており、我が国においても景気の急速な悪化など社会経済両面に甚大な影響を受けております。

また、少子・超高齢化による人口減少、社会保障費の増大、さらに地球温暖化による大規模災害の発生など大きな課題が山積しております。

一方、米国・英国をはじめとして自国第一主義、保守主義政策により貿易摩擦の影響で、ますます世界経済の景気の不透明感が高まっているところでもあります。

本市としても、コロナ対策と社会・経済活動の両立を図りながら、持続可能な都市の形成に向け「ネットワーク型コンパクトシティ」の着実な推進や「スーパースマートシティ」に向けた取り組みが求められています。

このような中、本市においては、2050年度を目標年次とした「第6次宇都宮市総合計画」が策定され「子育て・教育・学習」「健康・福祉・医療」「安心・協働・共生」「魅力・交流・文化」「産業・環境」「都市空間・交通」の6つの未来都市の実現に向けた取り組みが進められております。

これらのことをふまえ、令和3年度の予算編成にあたっては、多様化する市民ニーズに的確に対応するとともに、52万市民の希求する生活者重視の施策を着実に実行し、本市が持続的に発展できるまちづくりを推進するため、以下の事項について要望するものであります。

重点要望事項

1. 新型コロナウイルス感染症対策の強化

本市においては、国・県との情報の共有や市内感染の防止に努めているが、今後更なる感染拡大防止や市民生活・経済への影響を最小限に留めることが求められている。

- (1) 抗原検査を含む検査体制や医療提供体制の充実強化
- (2) 本市企業等応援助成金の継続拡充
- (3) 複合災害における危機管理体制の整備
 - ・ 災害協定の推進による備蓄品の確保（ダンボールベット・パーティション、マスク、アルコール消毒薬など）
 - ・ ホテル等と災害協定を締結し避難所を拡充するなど分散避難体制の構築
 - ・ 避難所の3密防止対策や消毒体制の強化など避難所環境の整備
 - ・ 新型コロナ禍における「避難所の開設・運営ガイドライン」の周知徹底

2. 防災・減災対策の一層の強化

近年、ゲリラ豪雨・大型台風の暴風雨による浸水被害や、大地震による大規模災害が数多く発生し、多くの尊い人命が失われている。このような惨事が繰り返されないよう、市民の命を守る平常時の防災・減災対策の強化が求められている。

- (1) ゲリラ豪雨・大型台風の対策強化
 - ・ 河道掘削など田川、姿川の河川改修促進
 - ・ 調整池の設置や田んぼダムの普及促進
 - ・ 公共下水道雨水幹線の整備など冠水対策の強化
- (2) 避難所の施設・設備の整備
 - ・ 避難所における換気設備の設置推進
 - ・ 避難所の開設・運営や避難所環境の整備と避難誘導の体制強化
 - ・ 小中学校体育館へのエアコン設置推進
 - ・ 飲料水、非常食、液体ミルク、災害用トイレ等備品の拡充
- (3) 水害・土砂災害ハザードマップの周知やマイ・タイムラインの作成推進

3. ネットワーク型コンパクトシティの推進

人口減少、少子・高齢社会を迎えた今日、本市が持続可能な発展をするためには「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成が必要である。本市は、東西方向に弱点のある公共交通の基軸として、新たにLRTを敷設するとともに、各拠点を結ぶ路線バスの再編、地域を面的にカバーする地域内交通の整備で、高齢者や交通弱者に優しいまちづくりが喫緊の課題である。

(1) LRTを基軸とする公共交通の整備

- ・ J R 宇都宮駅東側区間の L R T の着実な推進
- ・ J R 宇都宮駅西側区間の L R T の延伸計画の確立（東武宇都宮駅の結節を含む）

(2) 都市拠点の整備促進と魅力あるまちづくりの形成

- ・ 平出町トランジットセンター都市公園にスポーツ・防災機能付き芝生広場の整備
- ・ J R 宇都宮駅東口地区の着実な整備推進
- ・ J R 宇都宮駅西口周辺の再開発推進

(3) 公共交通の充実で自動車に過度に依存しない社会の実現

- ・ L R T ・ バス ・ 地域内交通間における乗り換え運賃上限 500 円の実現
- ・ 交通 I C カードの導入に伴う高齢者等割引制度の導入推進
- ・ 路線バス ・ 地域内交通を強化再編し公共交通空白地域の解消

4. 子育て支援事業の拡充と健康・福祉の充実

子育てを取り巻く環境は、近年大きく変化しており子どもの数も減少の一途をたどっている。安心して子育てできる環境づくりで、出生率の増加や児童虐待の防止につなげることが大切である。また、すべての子どもたちが希望をもって学ぶ事のできる機会の創出など、充実した教育環境を推進していくことが重要である。

- (1) 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援
 - ・子ども医療費無償化を高校3年生まで拡大
 - ・病児・病後児保育の支援拡充
- (2) 児童虐待防止対策の強化
 - ・子ども家庭総合支援拠点における相談体制の強化
 - ・児童相談所・警察・関係機関等との連携による支援強化
- (3) 待機児童の解消
 - ・保育士の待遇改善による人材確保
 - ・保育施設の整備拡充と保育サービスの充実
- (4) がん対策や健康増進のための環境整備
 - ・子宮頸がんワクチン予防接種の正しい情報提供
 - ・ピロリ菌検査費用の助成制度創設
 - ・ドクターカーの安全な運用体制強化
 - ・がん患者への支援強化(医療用ウィッグや妊よう性温存治療など)
 - ・がん教育の推進
 - ・高齢者・交通弱者の外出支援強化
- (5) 地域包括ケアシステムの構築
 - ・認知症予防対策の強化と認知症対応型通所施設・ホームの拡充
 - ・地域包括支援センターの体制・機能強化
- (6) 8050問題 ひきこもり長期高齢化の対策強化

5. 教育の充実と生涯にわたる学習活動の促進

子どもから大人まで、誰もが夢や希望を実現するための教育を享受できる社会を構築し、一人ひとりに内在する無限の創造性を育む事こそ、最も大切な作業といえる。すべての市民が希望をもって学ぶ事のできる機会の創出、学校が子どもにとっての“学ぶ喜びの場”となり“生きる喜びの場”となるよう、充実した教育環境を推進していく事が重要である。

- (1) 小学校特別教室や小中学校給食調理室へのエアコン設置
- (2) 小中学校へのエレベーターの計画的な設置拡充
- (3) 学校教育におけるICTの活用推進と人材の確保
- (4) いじめ・不登校対策の強化
 - ・自宅でICTを活用した学習機会の提供など きめ細かい支援の推進
 - ・伴走型相談支援体制の充実(AIミヤリーちゃん方式)
 - ・スクールソーシャルワーカーの増員
- (5) 子どもの家等新体制の運営支援と施設整備の拡充
- (6) 学校における働き方改革の推進
 - ・スクールサポートスタッフの導入推進
 - ・長時間労働の見直しとメンタルヘルス対策の推進
- (7) 公立夜間中学校の新設
- (8) 市立図書館への図書除菌機導入

6. 地域経済の活性化

本市も人口減少の局面を迎えた。地域経済の発展のためには、産業・経済の環境変化に的確に対応しながら、地域産業の創造性・持続性を高めるとともに、新たな雇用の確保と企業承継の推進により地場産業の安定化を図る必要がある。また、農産物の販路拡大を推進する政策や観光交流の一層の促進を図ることが大切である。

(1) 新たな企業誘致と雇用の促進

- ・ **サテライトオフィスの誘致促進**
- ・ 新たな工業団地の早期事業化
- ・ I T系企業などを中心市街地へ誘致促進

(2) 魅力ある観光交流の促進

- ・ 大谷地域の観光インフラの整備と情報発信の強化
- ・ ろまんちっく村魅力アップ事業の推進

(3) 魅力ある農業の促進

- ・ I C Tの活用でスマート農業の推進
- ・ 農福連携の推進

(4) 宇都宮市中央卸売市場の活性化

- ・ 市場の観光拠点化を推進
- ・ 関連施設のリニューアルと特色あるイベント開催の促進

7. 環境の未来都市実現

本市は、国連が定めた「持続可能な開発目標（SDG s）」の達成に向け、優れた取り組みを行っている自治体として令和元年7月「SDG s 未来都市」に選定された。今後は、企業や市民団体と連携しながらSDG sを普及啓発し、省エネ・再エネの促進、ゴミ減量化、環境教育に取組み、環境に配慮したまちづくりによる環境の未来都市を実現すべきである。

(1) 地域新電力会社を基軸とした環境都市宇都宮の構築

(2) 食品ロス削減の推進

- ・ **プラスチック資源ごみの3 R推進**
- ・ フードドライブの常設収集によるフードバンク・子ども食堂への支援強化
- ・ 小売業者や家庭における食品の適切な管理や有効活用の普及啓発

- (3) CO₂など温室効果ガス排出量の削減
 - ・家庭向け低炭素化普及促進補助制度の周知啓発
 - ・LRT沿線における低炭素化の推進
 - ・公用車への電気自動車、ハイブリットカー導入促進
- (4) 板戸最終処分場・南清掃センター跡地の利活用推進

8. ICT化の推進でスーパースマートシティの構築

本市も人口減少の局面を迎え、産業・経済の縮小に的確に対応しながら、行政経営の合理化を推進し、高い行政サービスを維持する必要がある。また、新たな雇用の確保と企業承継の推進や地場産業の安定化を図るとともに農業のスマート化や販路拡大を可能にするインフラの整備で本市財源の確保・拡大を図ることが大切である。

- (1) 電子行政の推進
 - ・マイナンバーカードの活用による窓口・申請業務の迅速化
 - ・行政のICT化とAI活用による行政サービスの提供
- (2) 行政経営の合理化
 - ・RPA導入のための標準化と事務処理の自動化推進
 - ・行政のリモートワーク化推進
- (3) 産業の活性化に寄与する人材育成
 - ・本市職員採用の年齢制限撤廃で、労働人口の流動化促進
 - ・ICT人材育成の強化と民間との交流促進
- (4) 誰もが利用できる通信環境の早期充実
 - ・学校・図書館を含む公共施設への5G・Wi-Fi整備
 - ・路線バス・LRTなど公共交通機関への5G・Wi-Fi整備

要望項目

I 「子育て・教育の未来都市」の実現に向けて

● 「子育て分野」

- 婚活事業の支援強化
- 特定不妊治療の周知支援
- 産前産後サポート体制の充実
- 産後うつ早期ケアの推進
- ニーズに対応した保育環境の充実
- 児童虐待の早期発見と、きめ細かい対応の強化

● 「教育分野」

- 学校トイレの洋式化促進と衛生環境の改善
- 発達障がい児への支援強化と特別支援教育の充実
- 教職員体制を整備拡充し「チーム学校」を推進
- 部活動の外部指導員・部活動指導員の拡充と県への協力要請
- 中高生への主権者教育の強化など政治参加の促進
- 英語教育充実の為にALT増員
- 生活困窮世帯への学習支援拡充とひとり親家庭の生活・就労支援強化
- 入学一時金・返還免除型育英修学資金貸付制度の拡充
- 奨学金返済者への負担軽減制度の創設

● 「学習分野」

- 北西部地域への体育施設整備推進
- 地域スポーツクラブの支援拡充
- 高齢者向けスポーツ活動の推進
- 社会教育支援の充実（親学の推進等）

Ⅱ 「健康・福祉の未来都市」の実現に向けて

● 「健康分野」

- 肝炎ウイルス検査の受診率アップと肝炎の予防・治療対策の強化
- 風疹のワクチン接種普及推進
- 健康診査受診率の向上
- 健康づくり推進委員の育成・活動の促進
- うつ、自殺予防対策の強化
- 受動喫煙防止の推進
- 健康ポイント事業・高齢者等地域活動支援ポイント事業の拡充

● 「福祉分野」

- 宇都宮市総合福祉センターの移設整備
- 地域包括支援センターの周知徹底（案内看板の設置等）
- 成年後見人制度の普及啓発と市民後見人の育成
- 生活保護受給者・生活困窮者の自立支援強化
- 公共施設（投票所含む）のバリアフリー化および情報バリアフリーの推進
- 障がい者・難病患者の相談窓口の充実及び支援体制の強化
- 障がい者雇用の促進と授産品の積極的な活用の推進
- 障がい者の居宅・通所サービス提供の充実

● 「医療分野」

- がん検診未受診者への個別受診勧奨・再勧奨の強化
- 医療機関での無料肝炎ウイルス検査の実施
- 夜間休日診療所の充実（診療科の増設等）
- オンライン診療等、在宅医療の推進
- 医療情報の共有化を推進
- 地域拠点に充実した訪問医療や介護体制などの形成

● 「介護分野」

- 介護職員のさらなる待遇改善の推進
- 市営住宅における要介護者向けリフォームの推進
- AI，IoTを活用したヘルスケアシステムの構築
- 認知症見守りシステムの拡充と認知症サポーターの育成推進

Ⅲ 「安全・安心の未来都市」の実現に向けて

● 「安心分野」

- 急傾斜地崩壊防止対策の促進
- 道路の無電柱化推進
- 橋りょうの耐震化・長寿命化の推進
- 市有施設における非構造部材の耐震化推進
- 避難所運営のためのHUGの活用推進
- 自家発電、災害対応型ガスバルクシステム等設備の整備拡充
- 防犯カメラの設置拡充（自動販売機併設型防犯カメラなど）
- 特定空き家の解消と空き家・空き地対策の推進
- 道路破損状況通報アプリの導入
- ネット119緊急通報システムの円滑な運用体制の推進
- 消防団員確保と待遇向上
- AEDの設置と救命講習等の促進
- 消費者被害の対策強化

● 「協働・共生分野」

- 単位自治会ごとの地域防災マップ作製推進
- 市の防災訓練における要配慮者・避難支援者の参加促進
- 高齢者施設などに対する避難計画の作成、避難訓練の実施などの徹底
- 女性防災リーダーの養成推進
- 防災セミナーの開催と参加促進
- 孤独死の防止対策強化

Ⅳ 「魅力創造・交流の未来都市」の実現に向けて

● 「魅力分野」

- ジャパンカップ・3X3・餃子祭りなどビッグイベントの継続充実
- U I J ターン促進のため全国へ情報発信の強化
- 東京圏からの移住・定住の促進

● 「交流分野」

- 国際交流のさらなる推進
- 外国人住民のための生活相談充実
- 地域資源を活用した戦略的観光の推進（市民への観光情報の発信等）

● 「文化分野」

- 地域伝統文化継承団体・伝統工芸品産業振興団体、後継者育成などへの支援拡充
- 子どもの文化芸術活動への支援

V 「産業・環境の未来都市」の実現に向けて

● 「産業分野」

- 中小企業に対するSDGsの推進支援
- 公共料金を含むキャッシュレス決済の普及促進
- 産学官連携による新産業の誘致と起業支援の強化
- 地元中小企業・小規模事業者の活力向上と人材の育成支援
- 外国人観光客誘客のための情報インフラ整備促進
- 農商工連携による6次産業の振興
- 中央卸売市場の機能向上（コールドチェーン化・屋根付き荷捌所など）
- 若者雇用・女性再就職マッチング事業の拡充
- 山林・林道の整備促進

● 「環境分野」

- 高断熱建築の普及、公共建築物への適用で省エネ社会の実現
- 電気自動車の普及促進
- 資源の有効活用促進（レアメタルの回収、新たな資源化事業の導入等）
- 3Rの推進でゴミ減量化
- 保育園・学校等における食品ロス削減の食育・環境教育の推進
- 「もったいない残しま10」運動の周知啓発
- マイバッグ、マイボトルの普及促進
- 中心市街地の緑化推進、市民協働による都市緑化活動の促進

VI 「交通の未来都市」の実現に向けて

● 「都市空間分野」

- 街なか大谷石活用事業の推進
- 上下水道の経営基盤強化（有収率・収納率の向上）
- 上下水道施設の耐震化推進と老朽管の更新促進
- L R T 沿線における魅力あるまちづくりの推進
- 中心市街地のにぎわい形成

● 「交通分野」

- 大谷スマート I C の整備推進
- 自転車利用者の交通安全対策の促進（条例の制定を含む）
- 自転車のまちにふさわしいサイクリングロードの整備促進
- バスロケーションシステムの充実
- パークアンドバスライドの整備促進等利便性の向上

VII 「強固な行政経営基盤」の確立に向けて

● 「行政経営分野」

- 情報セキュリティ対策の強化
- ふるさと納税の取り組み強化
- 自主財源の積極的な確保
- 公会計制度の着実な推進